



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

Eジャーナルしずおか

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3571 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp



令和4年(2022年)
3月7日
月曜日
第245号

令和3年度学校の働き方改革 推進プロジェクト

～『働きがいも学びの質の向上も』持続可能な働き方改革～

教育委員会では、学校の業務改善を一層推進するため、「学校の働き方改革推進プロジェクト」に取り組んでいます。今回、小中学校、高等学校、特別支援学校及び学校事務の4つのワーキンググループ(WG)が、2年間取り組んできた活動について、ご紹介します！

働き方改革に終わりはありません。教職員一人一人の「働きやすさ」と「働きがい」のために、そして学びの質の向上のため、『持続可能な働き方改革』に取り組んでいきましょう！

小中学校WG



業務改善
「夢」コーディネーターによる
新しい働き方
改革

持続可能な業務改善の実現を目指します。

「夢」コーディネーターを中心とした業務改善や、好事例の共有・啓発に取り組んでいます。



動画視聴はこちら

高等学校WG



勤務時間
管理システムを
活用した
業務改善プロセス
の構築

データ分析と対話を通じた
持続的な業務改善を目指します。

時間外勤務データ分析と各モデル校での実践を踏まえ、業務改善プロセスの構築に取り組んでいます。



動画視聴はこちら

特別支援学校WG

「個別の
指導計画」の
静岡県版
パッケージ化に
向けた構想



一人一人が実感できる
業務改善の実現を目指します。

「個別の指導計画」の標準様式の作成と人材育成研修を組み合わせたパッケージ化に取り組んでいます。



動画視聴はこちら

学校事務WG

総務事務の
システム化・集中化、
事務職員の
学校経営への
参画



学校経営に参画できる「スマート
オフィス」の実現を目指します。

事務の効率化や新しい事務職員像の検討等働きやすさと働きがいの向上に取り組んでいます。



動画視聴はこちら

【教育総務課】TEL 054-221-2628

学校の働き方改革推進プロジェクト



小中学校ワーキングテーマ



業務改善『夢』コーディネーターによる学校の新しい働き方改革



東伊豆町立稲取小学校

『夢』Co. 杉本 迪 教諭

「やらなければならない仕事」「やった方がいい仕事」「やりたい仕事」の3つに分け、普段の仕事を見直し、効率化を図っている。



取り組み内容はこちら

掛川市立中央小学校

『夢』Co. 村松 幸恵 教諭

午前5時間日課、高学年の教科担任制を導入。DX化を進め、「いつでもどこでもだれとでも」情報やデータを共有し、ライフスタイルに合った働き方を推進している。



取り組み内容はこちら

働き方改革推進校の取り組みを紹介します!

令和3年度、静岡県内33市町(政令市を除く。)から各1校、「学校の働き方改革推進校」を決定し、それぞれの推進校の中から、業務改善推進者として「業務改善『夢』コーディネーター(『夢』Co.)」を1人任命しました。『夢』Co.を中心に、新しい働き方改革に取り組んでいます!

【教育総務課】TEL 054-221-2628



三島市立北小学校

『夢』Co. 伊藤 亮 主幹教諭

「北小業務改善プロジェクトチーム」を立ち上げ、業務改善全体会を実施するなど、10項目以上に及ぶ業務改善策を講じている。



取り組み内容はこちら

菊川市立菊川西中学校

『夢』Co. 稲垣 諒 教諭

第1回「夢」Co.研修(校内研修)で、「カット系、キャップ系、効率化系」の案を出し合った。また、「夢」Co.通信を発行し、情報共有を図っている。



取り組み内容はこちら

男性教職員の育児参加を応援しています!

県教育委員会では、男性教職員の育児に関する休暇・休業の取得を推進しています。「育児プランシート」(*)等を参考に、積極的に休暇・休業制度を活用しましょう。管理職や同僚の皆さんも、育児参加への御理解・御支援をお願いします。



(※Webで「静岡県教育委員会の総務」と検索。県所属はNES「教委版休暇制度DB」に掲載)

項目	令和元年度実績	令和2年度実績	数値目標
男性教職員の育児参加休暇等(配偶者出産休暇、育児参加休暇)の取得率	71.9%(73.4%)	79.4%(90.1%)	100%
男性教職員の育児休業の取得率	2.1%(5.8%)	5.3%(9.9%)	(13%)

※カッコ内は県立学校のみ

【教育総務課】TEL 054-221-3144

私の育児休業生活

「妻と二人で育児休業」

静岡県立東部特別支援学校 教諭 西村 雄一

育児休業を取りながら2人の息子の育児をしている妻の妊娠が分かった当時、長男は幼稚園年少、次男は1歳でした。そのような状況に3人目の出産と育児が加わることは妻への負担が大きいと思います。私も育児休業を取得しようと考えました。

年度が替わるタイミングで休業や復帰をする方が気持ち切り替えやすいと思います。妻が5月に出産を控え、私は4月から1年間の取得をしました。4月から育児休業を取得したことで、私も育児や家事を行うことができ、妻は安心して出産を迎えることができました。

妻と2人で育児休業を取得することになり、自ずと役割の分担ができました。長女のおむつ替えや昼の寝かしつけは私にもできましたが、夜の寝かしつけと授乳は妻の方が長女も安心していたので妻が行いました。夜中の



頻繁な授乳で妻は慢性的な寝不足に悩んでいたため、朝は少しでもゆっくりできるような朝食作りや長男の幼稚園バスへの送りも私が行いました。

育児休業を取得する前は、子供と過ごす時間が増えることへの期待でいっぱいでした。実際、泥遊びや水遊び、段ボール工作、自転車の練習など遊ぶことで一日があっという間に終わる充実の日々でした。しかし、家事を抱えながらの育児は心に余裕がなくなることも多くあり、荷立ちを覚えることも多々ありました。そのようなときは妻と交代することで気持ちを切り替えることができました。やはり、育児には心の余裕が必要で、一人で育児を行うことの大変さと夫婦や周囲の家族と協力することの大切さを改めて感じました。

夫婦ともに休業していることの不安は金銭面でした。特に私は4月当

分の時間を確保できるため、趣味にも時間を費やすことができ、心身ともに余裕を持って子育てを行えています。さらに、子供が何か新しいことができたいと思ったとき、息子の成長を近くで見守りたいと思ったからです。

取得のタイミングや期間は迷いましたが、育児休業手当金の制度を調べ、早い段階から所属に相談したところ、年度途中でも取得しやすい体制を整えていただくことができました。

育児休業取得して良かったと思うことは、妻と2人で育児休業取得しているため、家事や急な体調不良などでどちらかが子供と接することができなくとも、もう1人が子供と一緒にいることができることです。また、交代で自



子育て生活に慣れてくると、意識して自分の時間や人と関わる時間を作らないと同じような毎日が続いていくのではないかと感じていました。

子育てで生活に慣れてくると、意識して自分の時間や人と関わる時間を作らないと同じような毎日が続いていくのではないかと感じていました。

情報も新鮮だった。初めての経験をすることで多くのことを学ぶことができていると感じています。

子育てで生活に慣れてくると、意識して自分の時間や人と関わる時間を作らないと同じような毎日が続いていくのではないかと感じていました。

「今しかできないことを」

静岡県立榛原高等学校 主任 青野 幹雄

私は、第二子が生まれた翌月から1年2ヶ月育児休業を取得しています。

育児休業取得した理由は、今後の人生を考えたとき、仕事から離れる不安よりも、子供の成長を近くで見守りたいと思ったからです。

取得のタイミングや期間は迷いましたが、育児休業手当金の制度を調べ、早い段階から所属に相談したところ、年度途中でも取得しやすい体制を整えていただくことができました。

育児休業取得して良かったと思うことは、妻と2人で育児休業取得しているため、家事や急な体調不良などでどちらかが子供と接することができなくとも、もう1人が子供と一緒にいることができることです。また、交代で自

息子の成長を近くで見守りたいと思ったからです。

取得のタイミングや期間は迷いましたが、育児休業手当金の制度を調べ、早い段階から所属に相談したところ、年度途中でも取得しやすい体制を整えていただくことができました。

育児休業取得して良かったと思うことは、妻と2人で育児休業取得しているため、家事や急な体調不良などでどちらかが子供と接することができなくとも、もう1人が子供と一緒にいることができることです。また、交代で自

ふるさとキャリア教育

浜松市立細江中学校 教諭 小川 高明



筆者

学びの場

― 探究的な学習 ―

思考ツールを活用したり、講話を参考にしたりしながら、細江地域の魅力や問題解決に迫る探究課題を見いだします(気づき)。そして、事業所訪問や、メール等を活用した情報収集等追究活動計画を立て、実行します(考える力)。

学びの連携・協働

生徒たちの学びを豊かにするため、コミュニティ・スクールを活用して、学校と社会をつなぐ体制を構築しています。地域を盛り上げようと

本校は、令和2年度から、「キャリア教育」を学校全体で進めています。生徒の実態を踏まえ、キャリア教育を通して育てたい力を気付く力、考える力、つながる力、伝える力、将来をえがく力の5つの力に整理しました。特に、総合的な学習の時間を「ふるさとキャリア教育」と位置付け、いと高い評価「ホソトレ」(HOSOIE Treasure for the future)をいただきました。未来へつながる宝探究と称し、細江地域を学びのフィールドとした探究的な学習に取り組んでいます。



ICT機器を活用した発表

今後の学びを思い描きます(将来をえがく力)。各学年でテーマや探究活動は異なりますが、3年間をかけてこうした活動を繰り返していくことになりました。活動している大人との出会いを通して、地域の魅力を発見するきっかけとなり、多様な価値観や生き方を学ぶ機会となりました。



地域で働く人から学ぶ

今後に向けて

コロナ禍の現在、フィールドワークや事業所訪問の縮小や制限等、活動が限定されていますが、ICT機器等の活用によって生徒たちの学びがより豊かになるように工夫していきたいと思えます。また、地域の方々と交流を深めたり、地域探索に出掛けたりする活動を通して、地域の教育資源の発掘や開発に努め、全教職員で学び続ける教員を目指します。

ICTを活用した 学習者主体の授業実践

掛川東高等学校 教諭 高橋 真美



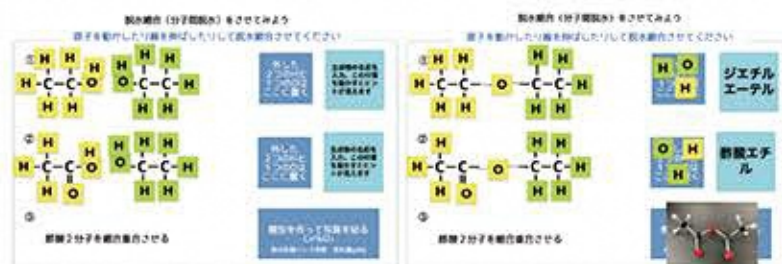
著者

はじめに

本校は掛川市にある全日制普通科高校です。2学期からの授業を、グループジャムボードを活用して生徒たちが考えたり調べたりしながら学習を進める学習者主体の授業スタイルに転換してみました。

学習者主体とするために

学習内容のまとまりごとにクラスルームに課題を作成し、ジャムボード、フオーム、そしてまとめプリントの作成を、生徒の理解度や進捗を把握し、次の教材作成に反映させます。自分が教えなくとも、教材に仕掛けた工夫によって、生徒が今までなく、有機化学の本質的な



ジャムボードの例。正しい付箋を動かして脱水すると既習の化合物に変化するの、それが何かを考える。右は生徒が提出したもの。



生徒の活動の様子。模型を作って撮影したり資料集で調べたりさまざまな活動をしている。

生徒が今までなく、有機化学の本質的ななく生き生きと活動して、考え方を身に付けること、この授業は、教師・生徒両者にとって良い授業実践になったと感じています。

ントの作成を基本のセットにして生徒に配信しました。生徒は自分のスマートフォンから自分のジャムボードにアクセスし、教室にある分子模型を使いながらジャムボードにある問いについて考察していきます。教師が全体に説明することはあまりなく、授業のほとんどの時間を生徒自身が考えたり調べたり、友達と相談したりしながら学習を進めていきました。

生徒からは「自分で考える時間が増えた」「友達と考え合ったり教え合ったりして理解を深められた」という思考する場面、の多さに言及する声や、「自分が知りたいところを納得できるまで追求できたり」「など主体性につながった」など主体性につながった感想も多く寄せられました。さらに「自分のペアで学べたことが、学びの楽しさにつながった」と感じた生徒が多かったこと、私にとって大きな発見でした。学習者が主体となり、楽しく学べるだけでなく、有機化学の本質的な考え方を身に付けること、この授業は、教師・生徒両者にとって良い授業実践になったと感じています。



生徒は好きな場所に座り、自由に立ち歩くこともできる。

総合教育センター
すななご Angle

基礎・向上期の教員のための 「特別支援学校授業づくりリーフレット」 を作成しました!

各教科等における学習指導、特に、「目標」「評価規準の設定」「学習評価」に焦点を当ててまとめたものです。
学習指導要領と各学校の目指す授業とをつなぐもの、また、校内研修資料として活用してください。
令和4年3月末に総合教育センターホームページに掲載予定です。

【総合教育センター 専門支援部 特別支援課】TEL 0537-24-9755

リーフレットでは、「国語科」(知的障害小学部2段階)を例に挙げ、授業づくりについて解説しています。



リーフレット
「特別支援学校 基礎・向上期の
教員のための授業づくり」

地域ぐるみで子供を育てよう! ～放課後子供教室編～

放課後子供教室では、放課後等に、学校の空き教室等を活用し、地域の方の協力を得て、子供たちに安全安心な居場所を提供しています。

焼津市の事例紹介!

焼津市では、今年度、地域の方やさまざまな団体の参画を得て、放課後や週末に7つの放課後子供教室を実施し、お茶体験や体操などさまざまな体験活動を行っています。地域住民との交流を通じ、子供たちが地域社会の中で健やかに育まれる環境づくりを目指しています。



わくわくチャレンジ南小キッズ☆(焼津市)

※県内、204箇所で開催されています。(令和2年度実績)

【社会教育課 地域家庭班】TEL 054-221-3115

大学生出張講座を 実施します!

県内の小・中・高校生に大学での勉強や生活を知る機会を提供するため、各校へ大学生を派遣する出張講座を実施します。
令和4年度の募集については高校には3月末頃、小・中学校には4月以降にお知らせします。

令和3年度実施校及び実施予定校

小学校	掛川市立第一小学校(掛川市)
高等学校	駿河総合高校(静岡市駿河区)、沼津市立高校(沼津市)、川根高校(川根本町)、浜松湖北高校佐久間分校(浜松市天竜区)

参加生徒の感想

- 大学の事だけでなく、高校生のうちにやった方が良い事や、効率の良い勉強法なども丁寧に教えてくれたので良い経験になった。
- 大学生と交流してパンフレットやHPなどでは得ることができないリアルな情報を知ることができた。自分はまだ将来のことが明確に決まっていなかったが、今回の交流会は将来のことを考える良いきっかけとなった。



公益社団法人 The Consortium of Universities & Local Communities in Shizuoka
ふじのくに地域・大学コンソーシアム

TEL 054-249-1818

静岡県富士山世界遺産センター

1. 令和3年度 ご利用御礼!

自然体験学習、修学旅行、総合的な学習の時間など
※令和3年4月～12月末日まで
学校団体来館件数: **243校**
(児童・生徒数は**16,517人**)
出前講座(学校対象): **27件**
※オンライン実施にも対応します。
(受講した児童・生徒**2,483人**)

カレンダーで予約状況を確認

スマートに予約を!

2. 団体予約システムで簡単に予約が可能に!

※詳細は静岡県富士山世界遺産センター公式ホームページ(<https://mtfuji-whc.jp>)をご覧ください。
令和4年度予約カレンダー公開中!

【静岡県富士山世界遺産センター】TEL 0544-21-3776

東海道シグマは生活支援コーディネーターを配置し地域づくりのお手伝いをしています!

静岡市受託事業 介護保険法 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で長く生活が送れるように、困りごとをお聞きし、関係団体と解決を目指します。

支え合い活動とは? 活動に参加、利用してみませんか?

<p>生活の困りごと</p> <p>支え合い活動</p> <p>支え合いづくり</p>	<p>居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 集い(交流)の場 健康づくり活動 趣味活動 カフェ 	<p>生活支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴミ出し 片付け 配食 安否確認 	<p>移動支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 買い物 通院
---	--	---	---

静岡市生活支援コーディネーター募集中!

下記までお気軽にお問い合わせください

お問合せ先 運営:(株)東海道シグマ 地域福祉支援事業部 TEL **054-255-4259** 東海道シグマ介護

静岡市葵区御幸町8-1 JADEビル6F 人材派遣業(派22-010009)・人材紹介業(22-ユ-010028) 受付時間/平日9:00~17:30 https://sigma-jp.co.jp/education/kaigo_seikatsushien/